

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	晴る日 円山事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達段階(状況)や年齢に応じた適切な療育に努めています。	教育現場での経験豊かな職員、心理面の指導や言語、身体の使い方を指導できる職員等、高度な専門的支援にも対応できる職員を配置しています。 療育に当たっては子ども一人一人に担当者を割当て、支援・療育が個別支援計画に沿って進められるよう注意を払っています。また、定期的に担当者の会議を開催して内容を検討しています。	全職員を対象としたケース会を充実させ、子どもへの支援の研究と検討を深めています。 特別支援学校や支援学級と連携し、教具や教材などによる効果的な支援について情報を共有する計画を持っています。
2	職員の資質向上と支援・療育能力の向上に努めています。	毎週職員研修を計画し、実施するようにしています。主要な研修については、法令で定められているもの、職員の資質および能力向上に不可欠なものについて年間計画を立てて実施しています。また外部研修に職員を積極的に派遣し、内容について事業所内でフィードバックするようにしています。	職員の知識・技術の向上を図るために外部講師を招へいすることも検討しています。
3	子どもの発達段階(状況)、保護者様のニーズ等を的確に把握・分析し、可能な限り支援・療育に反映させるよう努めています。	保護者様から提供された検査結果や事業所で実施できる発達検査等のフォーマルアセスメント、支援者の観察によるインフォーマルアセスメント等で得た様々な情報を事業所内で共有し、子どもの強みや課題とその背景にあるもの把握に努めています。職員もアセスメントに関する研修を受け、それらの把握に携わっています。	職員全員が左記の連携に加わることができる体制作りを進めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの支援室が狭く、運動や集団活動に満足できるスペースが確保できていないこと	狭いスペースで全身運動できる用具や器具が不足しています。地域の社会資源の活用が「近くの公園」に限られています。	地域の愛育委員、社会福祉協議会、幼稚園や保育園との連携を深め、活動場所の発見や施設の共同使用実現を模索していきます。 事業所に運動器具や遊具の拡充を図ります。
2	保護者会での保護者様の交流やペアレントトレーニングの機会と質が不足していること	現在支援・療育を1日三日制で切れ目なく行っており、開催や対応する時間を見い出せていません。	保護者様のご要望を伺う仕組みを作って実施し、ニーズに合った支援の場を設けるようにします。 来年度から、支援・療育時間を二部制とし、空き時間を保護者様への支援に充てさせていただくよう務めます。
3	災害時避難訓練の状況報告、安全計画の告知が不十分であり、保護者様に心配をおかけしていること	事業所便りで避難訓練の様子をお知らせしていますが、わかりやすさの点で不十分でした。	該当月の事業所便については、「避難訓練特集号」としての特色を濃くした編集をします。 安全計画やマニュアル等については、掲示スペース拡大、必要に応じたお知らせをとおして周知に努めます。